



AIR断震 倶楽部通信 38

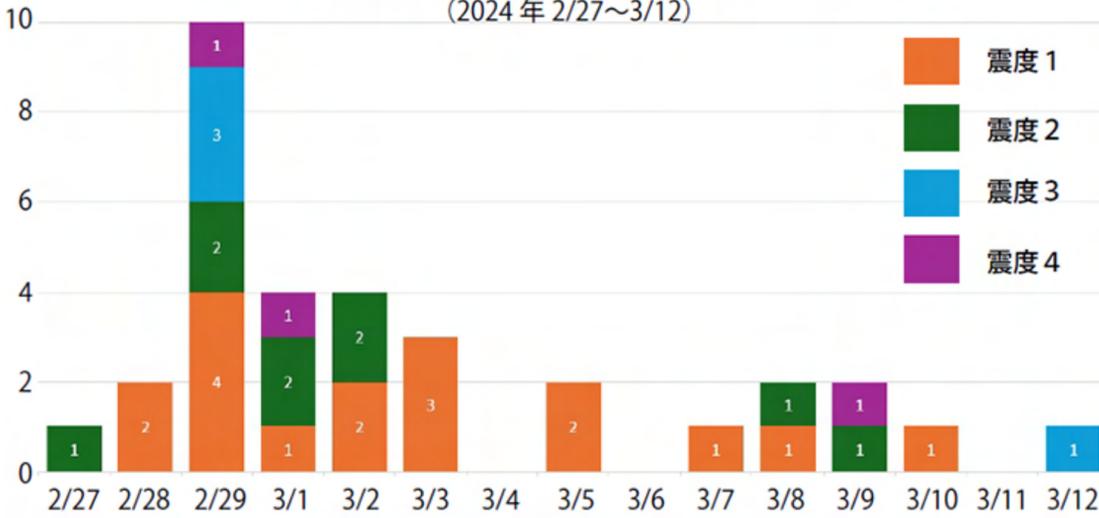
世界初! 空気の力で家を浮かす!
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

千葉県東方沖で相次ぐ地震 原因は「スロースリップ（ゆっくりすべり）」か？

千葉県東方沖地震 日別震度別発生回数
(2024年2/27~3/12)



千葉県東方沖を震源とする地震が、2月末から3月上旬に相次いで発生しました。2月27日～3月12日に発生した震度1以上の地震回数は33回。2月29日には、マグニチュード4.9（最大震度4）、3月1日と9日にも最大震度4の地震が各1回発生し、「大地震の前兆か？」という懸念も高まっています。
国土地理院の観測分析で、房総半島のある陸側のプレートと、それに沈み込んでいくフィリピン海プレートの境界がゆっくりとずれ動く「スロースリップ（ゆっくりすべり）」が起きていることがわかりました。
2011年の東日本大震災前にもスロースリップが観測され、「スロースリップ」が地震と関連しているとみていますが、詳しい因果関係はまだ見つかっていません。
千葉県東方沖では、過去、1996年、2002年、2007年、2011年、2014年、2018年にスロースリップが6回観測され群発地震が発生しましたが、いずれも2～3週間で収まっています。しかし「今回もすぐに収まるだろう」と安心はできません。ホームページで、スロースリップの発生メカニズムや、スロースリップの観測体制を説明します。

[詳しくはHPへ▶](#)

現行の耐震基準は命を守る「最低限の基準」 繰り返す地震や経年劣化で耐震性能も危うくなる

■熊本地震における木造住宅の建築時期別の損傷比率
(建築学会によって実施された益城町中心部における悉皆調査より)

損傷ランク	V(破壊) 倒壊	IV(大破) 全壊	III(中破) 大規模半壊	II(小破) 半壊	I(軽微) 一部損壊	無被害
旧耐震基準 ~1981年6月	214棟 (28.2%)	133棟 (17.5%)		373棟 (49.1%)		39棟 (5.1%)
1981年6月 ~2000年5月	76棟 (8.7%)	85棟 (9.7%)		537棟 (61.2%)		179棟 (20.4%)
2000年 6月~	7棟 (2.2%) ※2	12棟 (3.8%)		104棟 (32.6%)		196棟 (61.4%)
新耐震基準 ※1 3耐震等級	0棟 (0%)	0棟 (0%)	0棟 (0%)	2棟 (12.5%)		14棟 (87.5%)
損傷イメージ ※3						

●図版の原出典：一般社団法人 くまもと型住宅生産者連合会発行『耐震等級3のススメ』
※1. 出典：国の熊本地震における建築物被害の原因分析を行う委員会 報告書より
※2. 7棟のうち3棟は接合部仕様が不十分であり、1棟は敷地の崩壊、基礎の傾斜等が確認された
※3. 参考資料：ヤマベの木構造 著者：山辺豊彦

2024年元日に発生した「令和6年能登半島地震」では、60棟の全壊、948棟の半壊を含む1万棟を超える木造住宅が被害を受けました。木造住宅の建築時期、住宅構造と被害の関係は今後の詳細な調査結果を待つ必要があるでしょう。
参考になるのが、上に示した2016年に発生した熊本地震の木造住宅被害調査結果です。日本建築学会が実施した熊本県益城町中心部の2340棟の住宅被害調査のうち、1955棟の木造住宅の被害を建築時期別・被害程度別に示したものです。明らかに、旧耐震基準で建てられた家より、1981年6月以降の新耐震基準の住宅の被害が少なく、さらに2000年6月に改正された木造住宅の新耐震基準の住宅被害は大幅に少なくなっています。
特筆すべきは、2000年基準の木造住宅のうち「耐震等級3」の住宅では調査住宅16棟のうちわずか2棟に小さな被害があっただけで、全壊・半壊・大規模被害のものが全くなかったことです。この「耐震等級」に関してはホームページで解説します。

[詳しくはHPへ▶](#)

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！

「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。

震度7の揺れを約1/30に軽減



▲国立研究開発法人 防災科学研究所での実証実験の様子
震度7を想定した住宅の浮上実験をご覧ください。

[詳しくはHPへ▶](#)

「AIR断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから▶

[バックナンバー▶](#)

「エアー断震システム」
詳しい資料請求はこちらまで▶

[資料請求▶](#)

「エアー断震システム」
の効果を体感してみませんか。
関東に4カ所体験できる展示場があります。

[展示会場▶](#)

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》
株式会社 三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階
TEL: 03-3551-0272 FAX: 03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら